

この世には、  
また雨が降って  
るよ。とな  
どと雨を嫌がる  
日本のような国  
と、そうでない  
国がある。日本  
は他国と比べて  
も降水量が多  
い。そんな雨水  
の豊富な日本だ  
からこそ、その  
雨水を有効に使  
っていくべきだ  
と僕は思う。そ  
して、それが世  
界に発信され、  
また工

その為に僕は、  
雨が上から下  
へ降ってくる  
ことに着目した  
い。上から下  
へ降ってくるこ  
とに

静岡県立浜松西高等学校・中等部

うことにより、  
より長く正確  
に浄水し送るこ  
とができる。た  
くさんの量があ  
るとい  
ことで、溜め  
たり、より多  
くの場所へ運  
ぶこ  
とが可能になる。

そんな雨水を  
利用して作  
りたいものは、  
エコの木だ。  
このエコの木  
というのは一  
言  
でいうと大き  
な木のことだ。  
その木自体は  
人  
工的なものだ  
が、骨組だけ  
が金属でそれ  
以外  
は木材を使っ  
ている。高さは  
五十メートル  
ほ  
どで、木の  
周囲が十メ  
ートルぐら  
いだ。そし

てこの木のつくりは大きくわけ、五つある。  
一つ目は雨水を溜める部分だ。ただ溜める  
のではなく、木の天辺にアンテナをつけて、  
人工衛星から雨雲の動きなどが送られるよう  
にする。そして、送られてきた情報から雨の  
向きを予想し、雨水を溜める大きな器をその  
方向に向かせるのだ。

二つ目は雨水を出す部分だ。溜まった水は  
少しずつ下に流れ、四十メートルほどから、  
一月二回はらまかれる。高いところから出さ  
れることにより、広範囲にまかれ、下にある  
花や草などの植物が育っていく。

三つ目は雨水を浄水する部分だ。植物には  
らまかれた以外の水は、太くて長い木の幹の  
中で浄水される。幹の中には、数個の部屋が  
あり、その中で微生物などにより浄水される  
のだ。

四つ目は周りの家々に送られる部分だ。浄  
水された水は、必要な時にこの木の根の中を  
通って周りの家々に届けられる。そしてトイ

し用水や水道水などに使われる。  
五つ目は憩いの場となる部分だ。浄水され  
た後の水で使われずに残ったものは、木の根  
元で水飲み場の水になったり、噴水となったり  
子供達の遊び場になったりする。つまり、こ  
の木の下には、緑豊かな公園となるのだ。  
このようにエゴの木があれば、自然界にも  
人々にも優しい親しみのもてる存在となるだ  
ろう。さらに、このエゴの木が一つではなく、  
日本の各地、いや世界中に広まれば、地球の  
緑は増えていくであろう。また、世界で水が  
少なく困っている人達にも役立つだろう。  
その為には、世界中が協力できる平和な世  
の中が必要である。世界中が笑って暮らせる  
ようになつた時、雨水によつて自然が豊かに  
なり、そしてまた人々の笑顔が増えていく。  
そんなエゴの木があると、毎日が楽しくなり  
そうだ。